

2023年2月期 決算補足説明資料

株式会社関通
(証券コード：9326)

2023年4月14日

目次

I.	決算概要	3
II.	今後の成長戦略	11
III.	業績予想	23
IV.	中期経営計画	28
V.	ご参考資料	33

I. 決算概要

2023年2月期 業績サマリー

- ・ 新規のお客様獲得は堅調に推移し増収となりました。
- ・ 新設の物流センターにおける空床期間の長期化が影響し減益となりました。

(単位：百万円, %)

	2022/2期 [単体] [累計実績]	2023/2期 [連結] [累計実績]	前期比	
			増減額	増減率
売上高	10,099	10,493	394	3.9
売上総利益	1,571	1,368	△203	△13.0
販管費	842	975	133	15.9
営業利益	729	392	△337	△46.2
経常利益	687	360	△327	△47.6
当期純利益	463	628	164	35.4
EPS (円)	45.74	61.15	—	—
ROE (%)	21.49	20.98	—	—

セグメント別業績

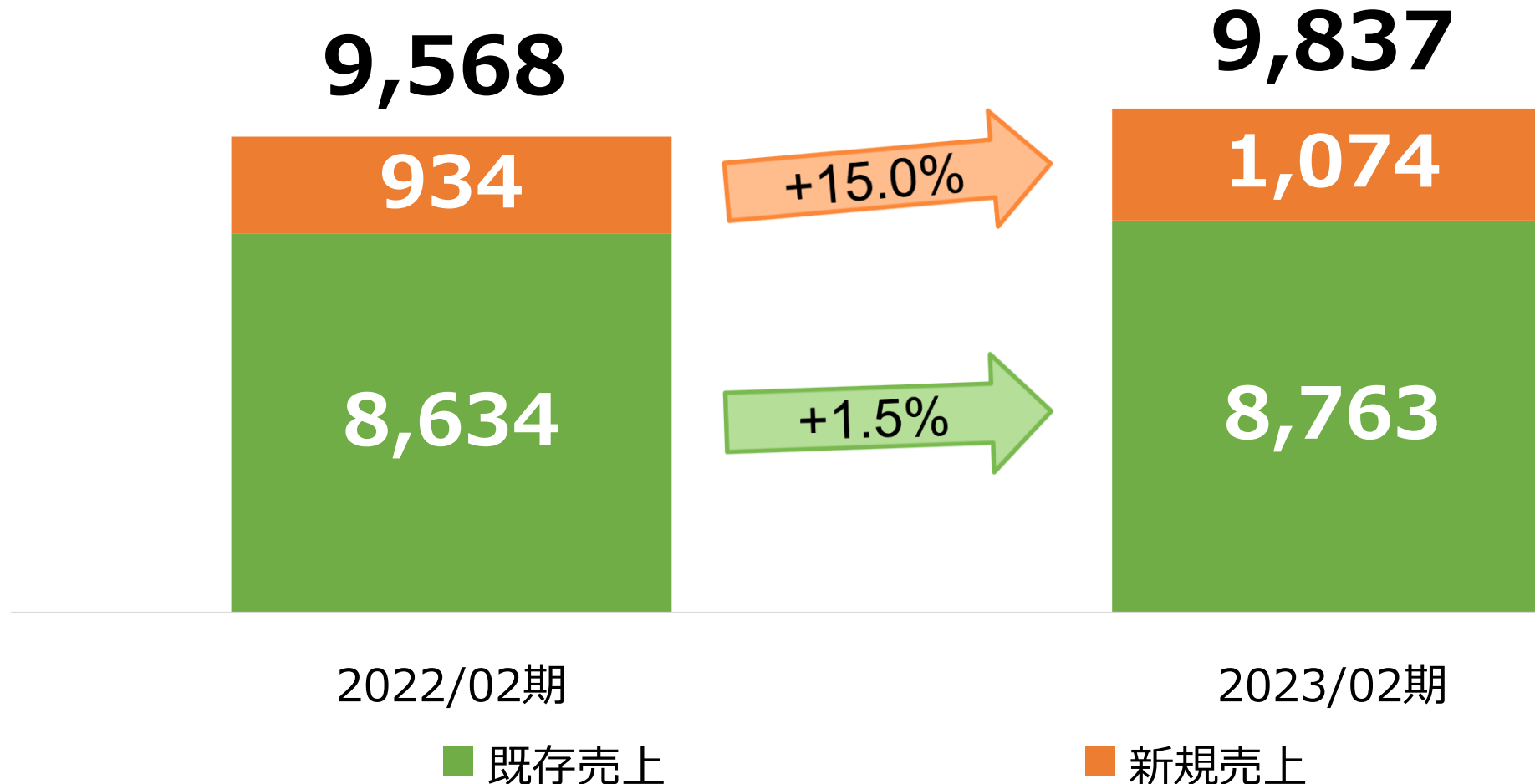
- ・既存のお客様の減収と空床期間の長期化により物流サービス事業では減益も、新規のお客様獲得は堅調に推移しました。
- ・ITオートメーション事業は順調に利用料を積み上げたことにより、増収増益となりました。

(単位：百万円，%)

		2022/2期 [単体] [累計実績]	2023/2期 [連結] [累計実績]	前期比 増減率
EC・通販物流支援サービス	売上高	9,393	9,618	2.4
	受注管理業務代行サービス	111	126	13.0
	その他	63	92	45.0
物流サービス事業 合計	売上高	9,568	9,837	2.8
	営業利益	613	189	△69.2
SaaS利用料	売上高	217	269	24.1
	機器・導入・開発	216	276	28.0
ITオートメーション事業合計	売上高	433	546	26.1
	営業利益	122	197	61.1

物流サービス事業の売上構成

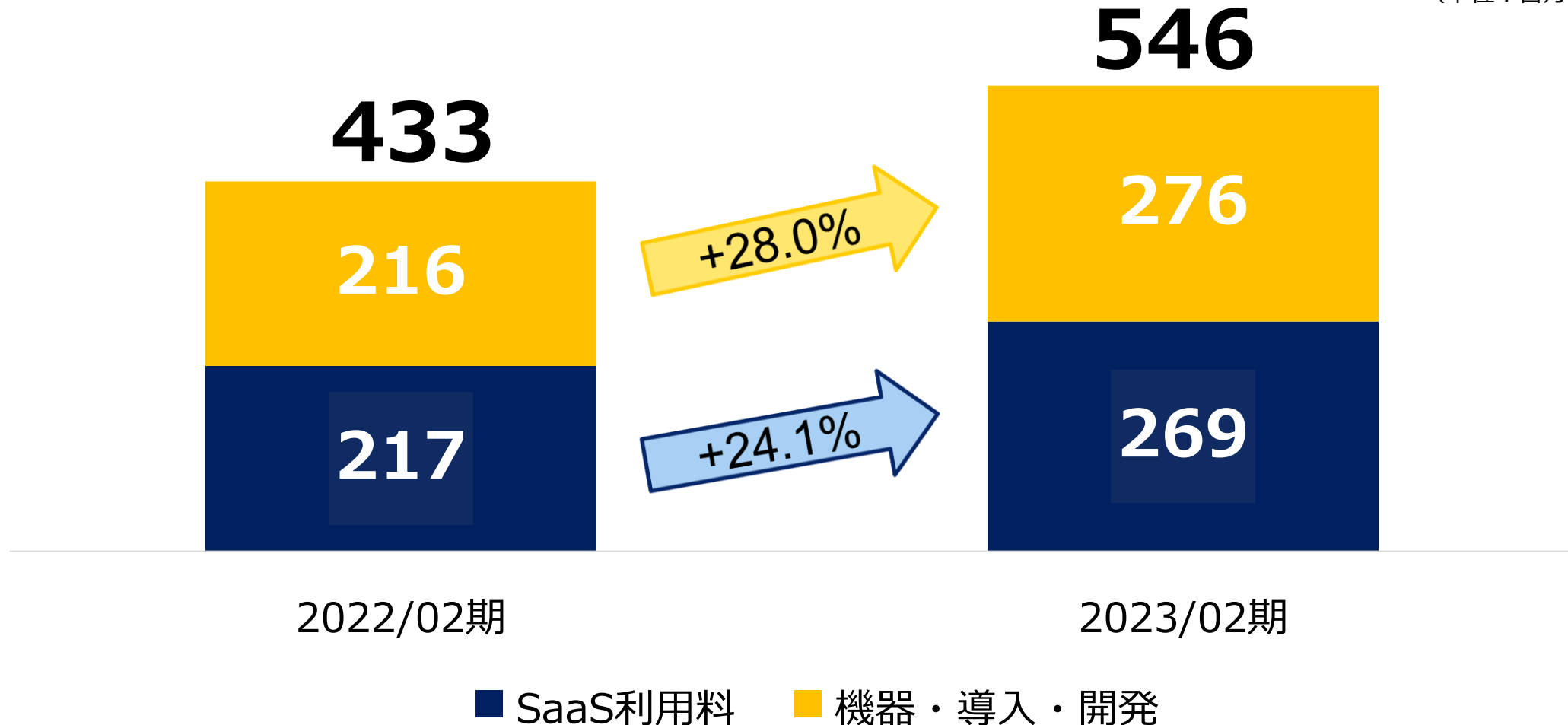
- ・ 新規売上は短期案件の獲得も影響し前年比15%増の実績を上げることができました。
 - ・ 既存売上は22年2月期新規売上を積上げましたが、既存売上平均90%で推移し、結果1.5%増となりました。
- (単位：百万円)



ITオートメーション事業の売上構成

- ・ 利用料売上は単価（10%アップ）・件数（20%アップ）ともに上昇し全体として前期比24%増。
- ・ 案件規模の拡大に伴い、機器販売・導入支援・開発の売上金額も成長を維持し前期比48%増。

（単位：百万円）



【TOPIC】株主還元としての配当

株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつと考え、安定配当の継続を基礎として、当期の業績ならびに今後の事業展開等を勘案しました結果、当期も配当を実施予定。

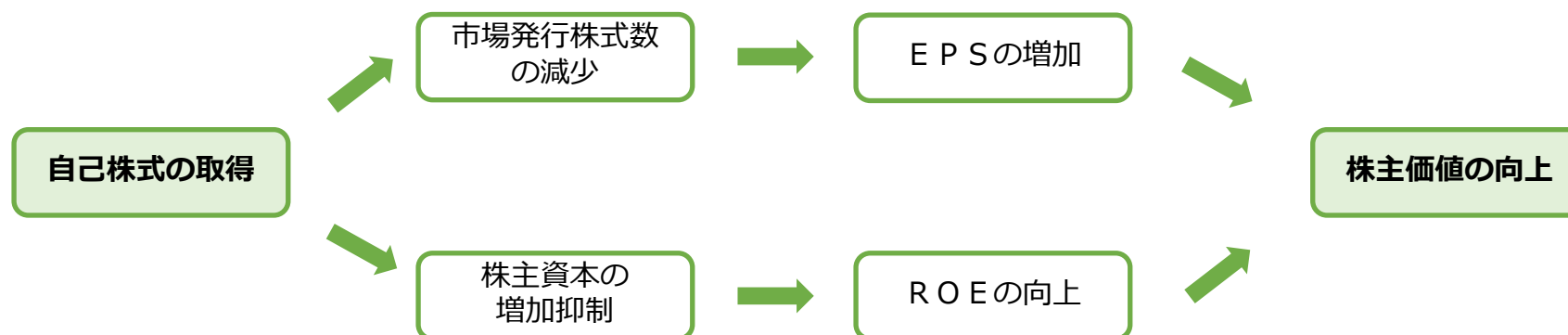
	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2022年2月期)
基準日	2023年2月28日	2023年2月28日	2022年2月28日
1株当たり配当金	10円00銭	10円00銭	10円00銭
配当金総額	103百万円	—	102百万円
効力発生日	2023年5月30日	—	2022年5月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

【TOPIC】 自己株式の取得を実施

資本効率の向上、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るために実施。

取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	300,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 2.91% ）
株式の取得価額の総額	300,000,000円（上限）
取得期間	2023年4月17日～2023年11月30日
取得方法	取引一任契約に基づく東京証券取引所における市場買付

[期待効果]



【ご参考】 資金調達の基本方針

資金調達は金融機関からの借入金を基本方針とします。

株式上場後の信用力向上に加え、
2023年2月の東大阪主管センターの土地建物売却で
手元資金、借入余力が増加

当面の設備投資資金・M&A資金は
手元資金・借入金を充当し希薄化を抑制

金融機関からの資金調達の多様化を推進
[長期借入金以外の資金調達多様化]



Ⅱ. 今後の成長戦略

期待を超える未来を創る KANTSUの新規事業

【物流サービス事業】

- アグリベース
- 国際物流
- 沖縄DC
- お買い得倉庫
- 冷凍冷蔵共配網
- プライム物流

【ITオートメーション事業】

- 次世代汎用OMS
- ウェアハウスプラットフォーム
- ロボットギヤング
- コンタクトセンター

新規事業

成長戦略室
M&A

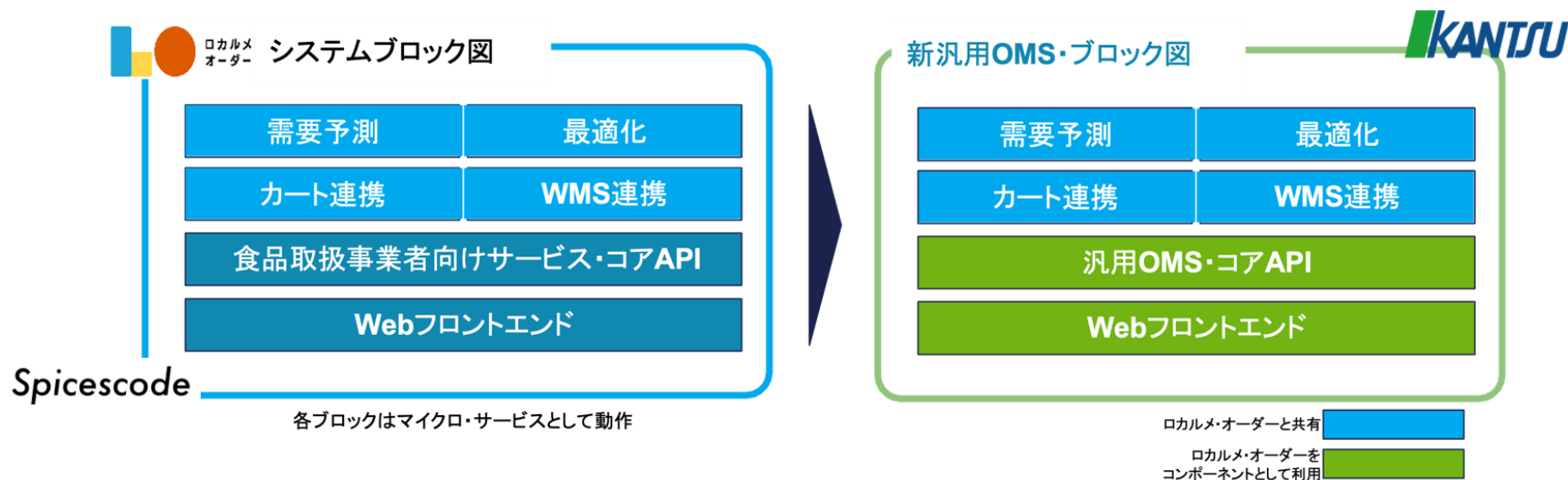
既存事業
成長

- 物流センター10万坪
- 冷凍冷蔵センター増床
- 短期スペースリーシング強化
- ミャンマーBPO活用の最大化
- 戦略的提携の推進
- 販売代理店制度導入
- プロフェッショナル人材登用
- 自動化/DXの推進

スパイスコード株式会社との資本業務提携で狙う 受注管理の自動化・DXの最高峰

スパイスコード(株)が提供するセントラルキッチンサービス「ロカルメオーダー」の機能をベースに、
関通が行っていた受注処理業務のノウハウ、自動化のノウハウを組み合わせた

「受注処理の完全自動化」を促進させる**次世代汎用OMS**の開発・提供を行います。



* このシステムによって、企業が行うtoCとtoBの両方の受注処理業務を自動化させるだけでなく、
当社が提供しているWMS(クラウドトーマス)との自動連携も行うため、製造・受注・販売・物流に
至るまでのサプライチェーン全体のDX化を大きく押し進めることが可能になります。

ウェアハウスプラットフォーム事業

物流テナントオーナーの施設管理に関する様々な課題を解決する事業です。また、テナントオーナーのみならず、入居者の物流課題をも解決するサービスの同時提供を行います。



約80,000坪※の物流センター管理ノウハウとリソースを活かした、

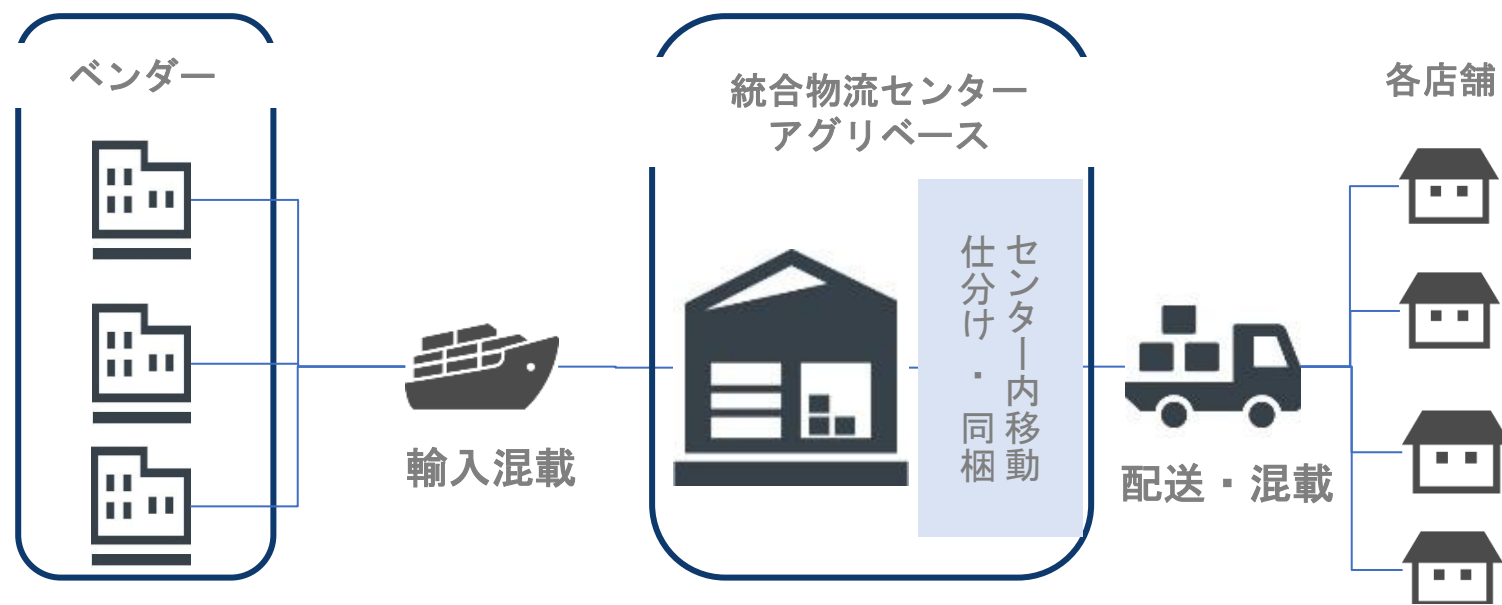
当社にしか提供できない新しいソリューション

※2024年7月開設予定までの拠点も含まれております。

2024年問題への答え アグリベース

「物流2024年問題」で明確な課題は、運賃高騰と荷量制限・納期遅延の発生です。

この課題の対処に必要なことは「集約と統合」です。これを実現するための物流センターとその機能をご提案するサービスが「アグリベース」です。



荷主企業にとって

販売のための輸送回数・輸送個数を減らすことができ、コストパフォーマンスが高まる。販売機会のロスが軽減する。

ベンダーにとって

納品のための輸送回数・輸送個数を減らすことができ、コストパフォーマンスが高まる。

社会にとって

CO2の削減や梱包資材のカットなど、SDGsへの貢献にもつながる。

賛同いただけるお客様が増えています。2プロジェクト推進中。

2024年問題への答え

沖縄DC (ディストリビューションセンター)

全国、津々浦々まで、商品を安定的にお届けすることは物流会社としての1つの使命です。

2024年問題では、その課題に対するアクションが

1つでも多く必要であることから、この度、

沖縄DCの開設を決定いたしました。

当社のお客様にご活用をして頂き、リードタイムの短縮、航空輸送で制限が多い商品に対する物流の対応、また、海外への輸出入拠点としての活躍をしていきます。

沖縄県糸満市

500坪6月OPEN!



2024年問題への答え 冷凍冷蔵の共配網

- ・ **ドライバー不足**
- ・ **食品EC化率の向上**
- ・ **冷凍技術の進歩**
- ・ **高齢者社会の到来** など

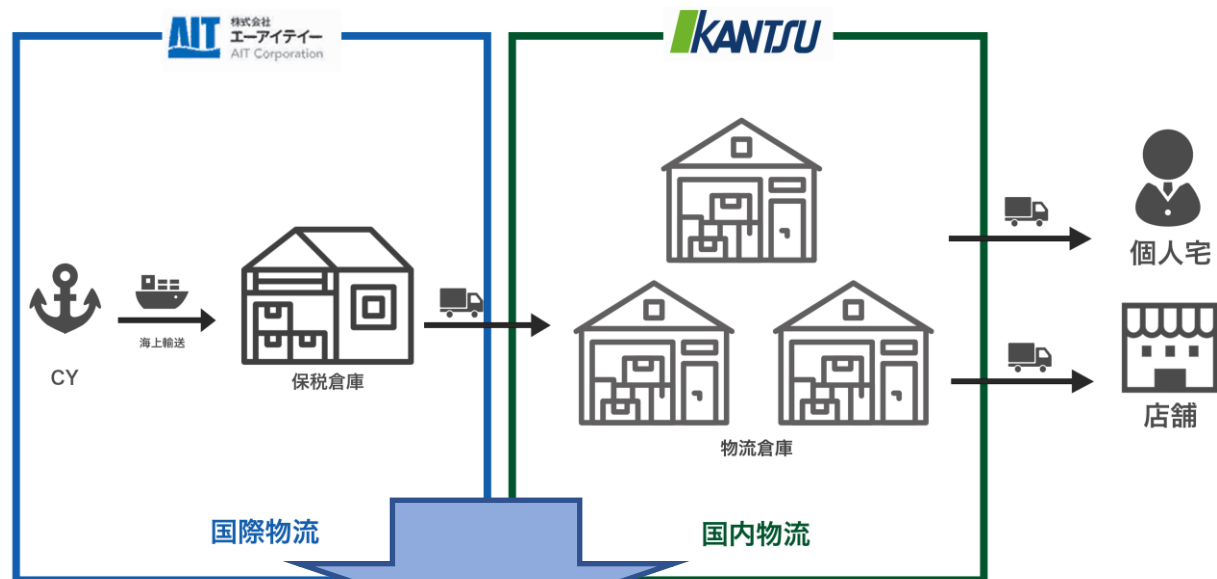
温度管理が必要となる輸配送は、社会から供給の強化を求められるポイントであり、物流企業として取り組まなければならない課題の1つです。

「冷凍冷蔵の共配網」の構築に着手します。このプロジェクトは当社1社で行うものではなく、信頼しあえるパートナー企業様と一緒に、スピードで推し進めていきます。



株式会社エーアイティーとの業務提携 国際物流サービスの提供開始

我々は国内物流に特化したビジネスモデルを確立させてきましたが、この度のフォーディング会社大手(株)エーアイティー社との業務提携により、輸出入から国内物流までの**一気通貫したサービス**のご提供が可能となりました。新たなサービスとしてお客様に国際物流をご提案できるだけにとどまらず、「サプライチェーンの見直し」という大きなテーマでの物流改革のご提案ができるようになりました。



サプライチェーン改善のご提案

フードロス、衣服ロスに貢献 お買得倉庫

食品・アパレルをはじめ「作りすぎによる廃棄」が社会課題になっています。当社が物流会社としてこの問題を捉えると、「不動在庫・不良在庫の改善」という視点での貢献ができる考えました。「お買得倉庫」では、我々がライブコマースやアプリコマースを駆使して倉庫発信の物販を行います。社会貢献のみならず、我々のお客様の販売にも寄与できる点においても付加価値の高い事業です。

**多くのお客様に共感を頂き、
ライブコマースで実販売を開始**

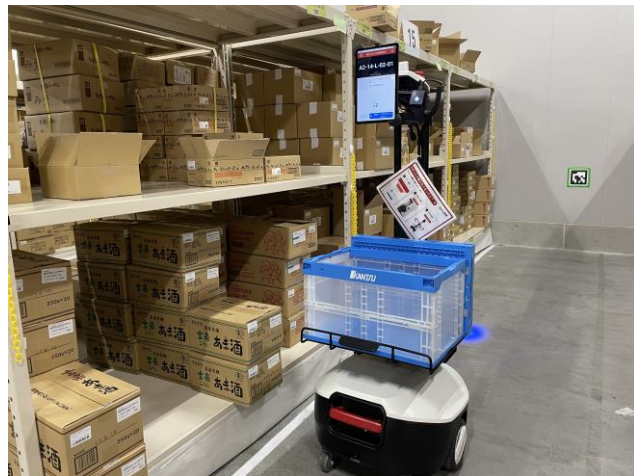


物流テックの最大活用モデル ロボットギヤング

当社は約80,000坪※の物流センターで様々な物流ロボットや物流機器の活用をしています。私たちは、物流テックは「人とロボット」がともに働ける物流現場の構築にあると確信しています。このノウハウを活かし、物流ロボット・物流機器・自動化機器の販売、ならびにお客様の物流現場の人員手配支援をパッケージにした新規事業に取り組みます。このサービス名称を「ロボットギヤング」と呼びます。

※2024年7月開設予定までの拠点も含まれております。

**埼玉の当社センターでは、人と自立移動ロボットの協働を実現。
これらのノウハウや技術、システム、人的オペレーションをお客様へ提供します。**

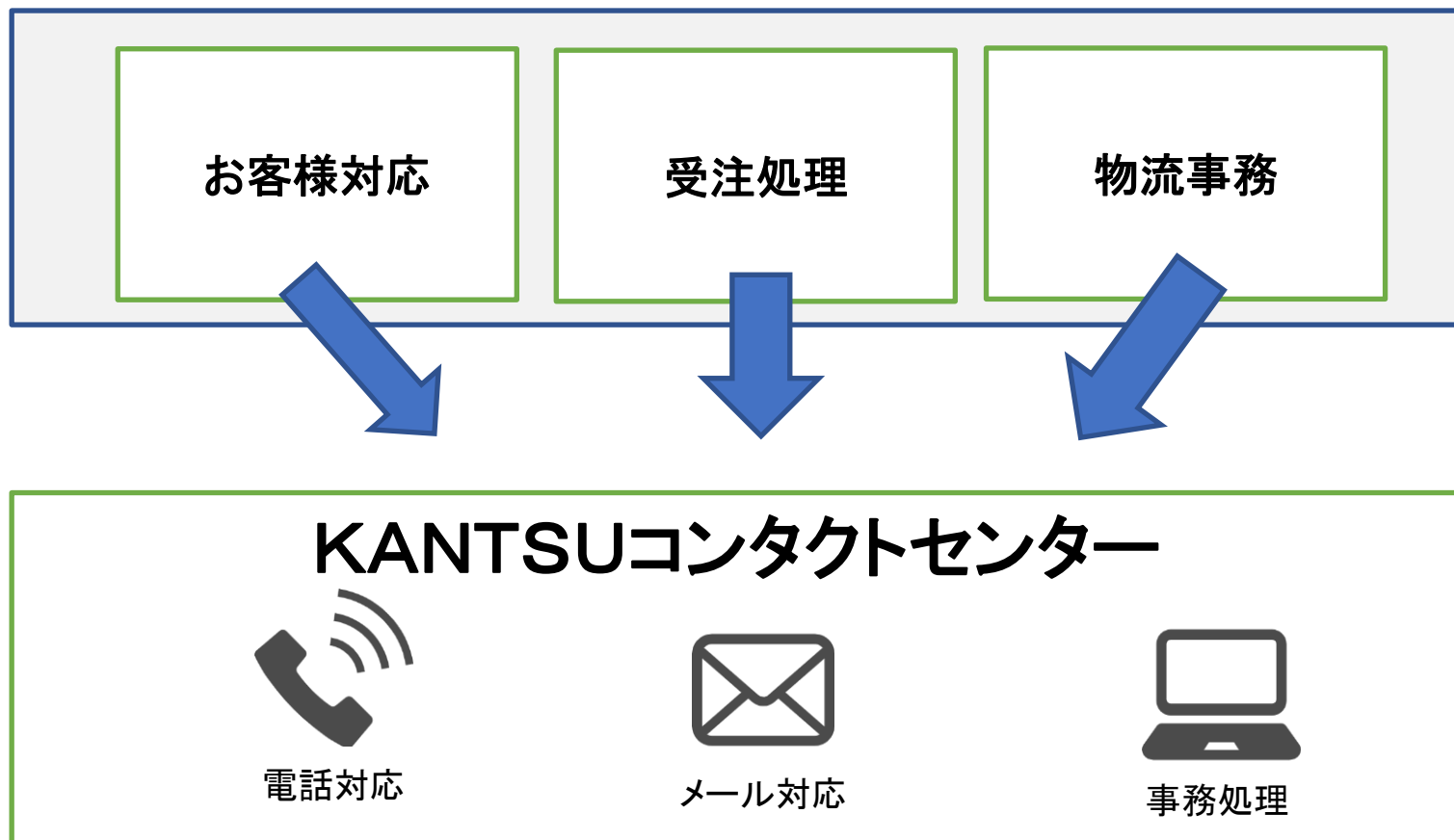


今後、ご提供を予定している
物流ソリューション

- ・ 自動梱包機
- ・ ロボットアーム
- ・ デバニングマシン etc . . .

お客様の業績を支えるためのサービス コンタクトセンター

在宅ワークや採用の高度化が進む中で、顧客フォローを実行できる付加価値の高いコンタクト業務のニーズが顕在化。



①

toB、toCの両方の
コンタクト業務を受託。

②

物流業務とコンタクト業務を
受託することにより、効率化。

③

アウトソーシングできなかった
自社で抱え込んだ煩雑な業務を
マニュアル化。実務+体系化
までも、高付加価値で提供。

Eコマースの変化と進化に対応 amazonプライム物流と、これから

(実績) 外資系大手スポーツメーカー様のamazonでの出店・販売を運用。プライム対応の出荷も実現。

DECATHLON



QUECHUA (ケシュア) キャンプ ポップアップ プテント 2 SECONDS FRESH&BLACK 2-3人用

★★★★☆ 13

商品の説明、2秒と設置、平置きにしておくだけで簡単に設置することが可能「EASY」カイドシステム。設置時に必要な道具がすべて、簡便なパンチツールは、「Fresh&Black」素材の防カビ加工済み。



ECプラットフォーム各社が購入者に対する「配送満足度を高める」ための物流ルールの強化を発表をしています。

■ 求められる要件

安定

速い

正確

(具体的な内容例)

- ・翌日配達エリアの充足
- ・欠品率の減少
- ・受注締め切り時間の延長など

「Eコマース物流のパイオニア」として、この課題に解決策を提示し、対応をします。

- ① 365日稼働拠点の設置
- ② 自動化による受注処理時間の削減
- ③ 複数の物流拠点をコントロールするWMS機能の充足



Ⅲ. 業績予想

2024年2月期 業績予想

- ・ 物流サービス事業は23年2月期の既存・新規実績を積み上げて保守的に設定し、12%増。
- ・ 既存業務の拡張や新規事業の種をまき、未来の成長要因を育む一年にします。

(単位：百万円, %)

	2023/2期 [連結] [累計実績]	2024/2期 [連結] [累計予想]	前期比	
			増減額	増減率
売上高	10,493	11,756	1,262	12.0
売上総利益	1,368	1,784	416	30.5
販管費	975	1,115	139	14.3
営業利益	392	669	277	70.8
経常利益	360	624	263	73.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	628	387	△240	△38.3
EPS (円)	61.15	37.37	-	-

セグメント別業績予想

- ・ 物流サービス事業は東京主管センター・アグリベースを2023年11月までに満床にします。
- ・ ITオートメーション事業は継続して利用料単価と件数のアップをベースにして事業規模を拡大させます。

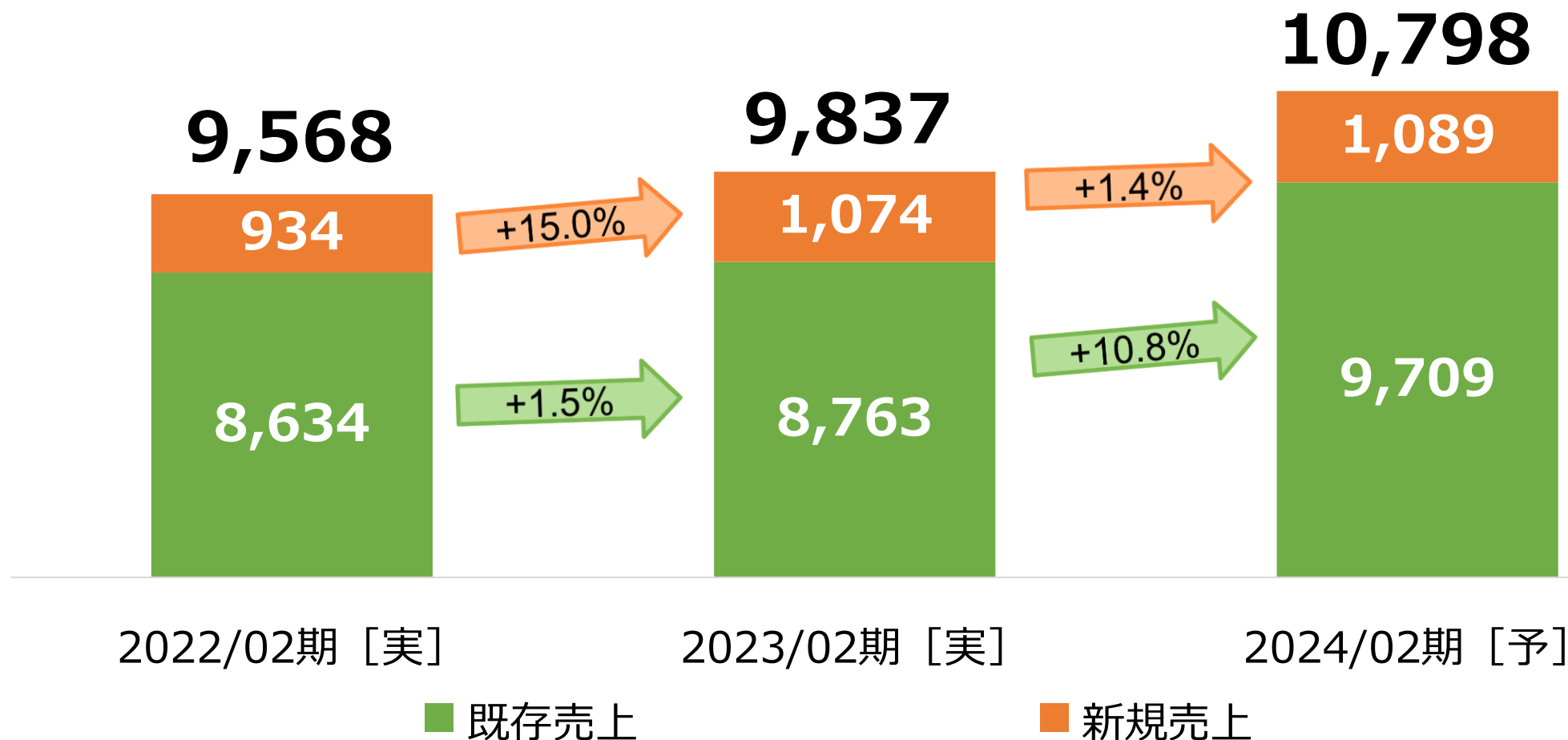
(単位：百万円, %)

	2023/2期 [連結] [累計実績]	2024/2期 [連結] [累計予想]	前期比 増減率
EC・通販物流支援サービス	9,618	10,600	10.2
受注管理業務代行サービス	126	120	△5.0
その他	92	77	△16.6
物流サービス事業 合計	9,837	10,798	9.8
SaaS利用料	269	441	63.5
機器・導入・開発	276	408	47.6
ITオートメーション事業合計	546	849	55.4

セグメント別売上予想（物流サービス事業）

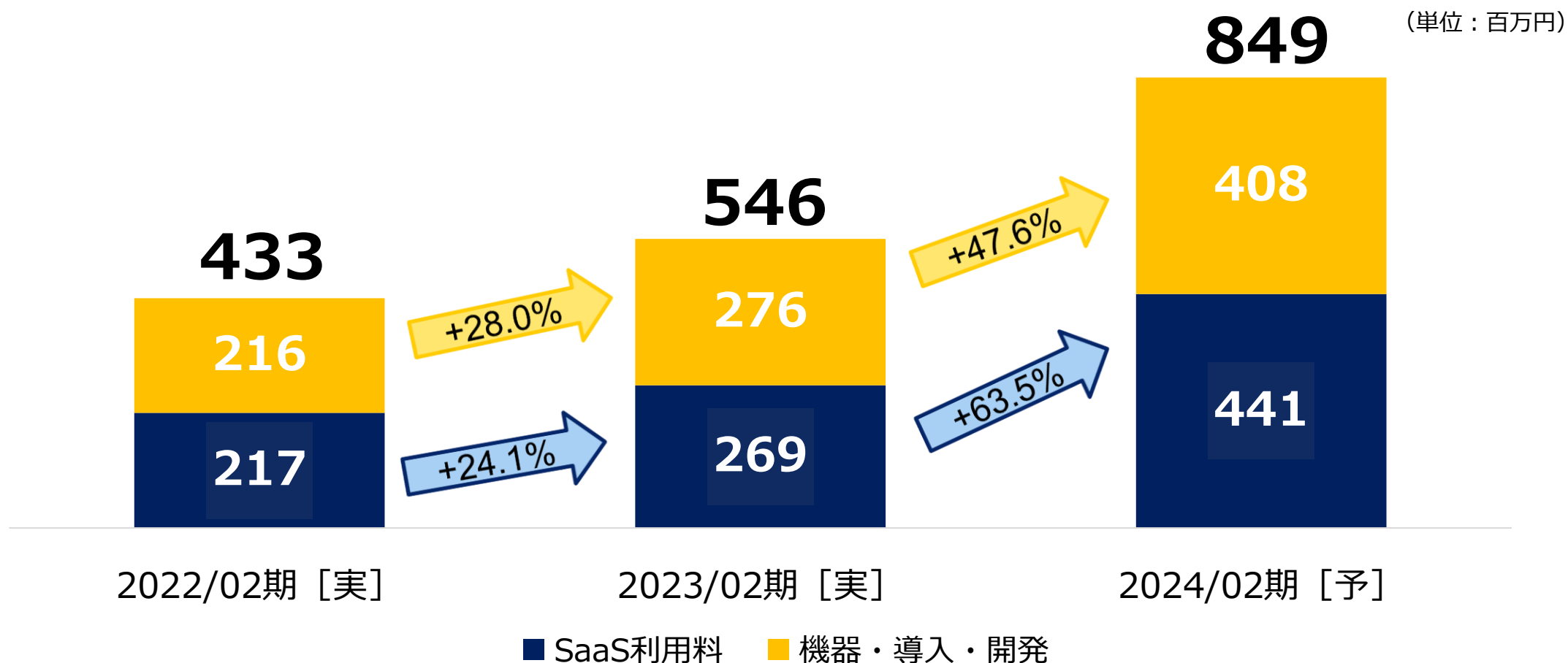
- ・ 前期新規の実績ベースで新規獲得し、23年2月期新規を積上げ以前までの通常成長に戻ります。
- ・ 既存センターの満床を新センター開設（2023年11月）までに完了させます。

（単位：百万円）



セグメント別売上予想（ITオートメーション事業）

- ・ 機器・導入・開発分の売上も予算設定し、前期実績から48%成長を目指します。
↳ 機器やロボット単体での販売ではなく利用技術を持った人員を派遣するサービス展開も含めて売上アップを目指します。
- ・ SaaS利用料売上のみで63%成長を目指します。
↳ クラウドトーマスの単価17%アップ（大型案件増加傾向のため）。23年2月期実績で10%単価アップ。





IV. 中期経営計画

中期連結経営計画

- ・ Eコマース市場の市場規模の増加率（約8%）を上回る成長により、2026年2月期の連結業績は売上高16,091百万円、経常利益880百万円を実現する計画です。
- ・ 既存物流サービス事業・ITオートメーション事業の成長により実現する計画で、M&Aなどは含まないオーガニック成長として設定しております。

(単位：百万円, %)

	2024/2期		2025/2期		2026/2期	
	計画	前期比 増減率	計画	前期比 増減率	計画	前期比 増減率
売上高	11,756	12.0	13,718	16.7	16,091	17.3
売上総利益	1,784	30.5	2,096	17.5	2,470	17.8
販管費	1,115	14.3	1,344	20.6	1,577	17.3
営業利益	669	70.8	752	12.3	893	18.8
経常利益	624	73.1	740	18.5	880	18.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	387	△38.3	465	20.1	560	20.3
ROE (%)	15%以上	—	15%以上	—	15%以上	—

セグメント別売上高計画

- ・ITオートメーション事業は全社成長率以上の成長率を設定しております。

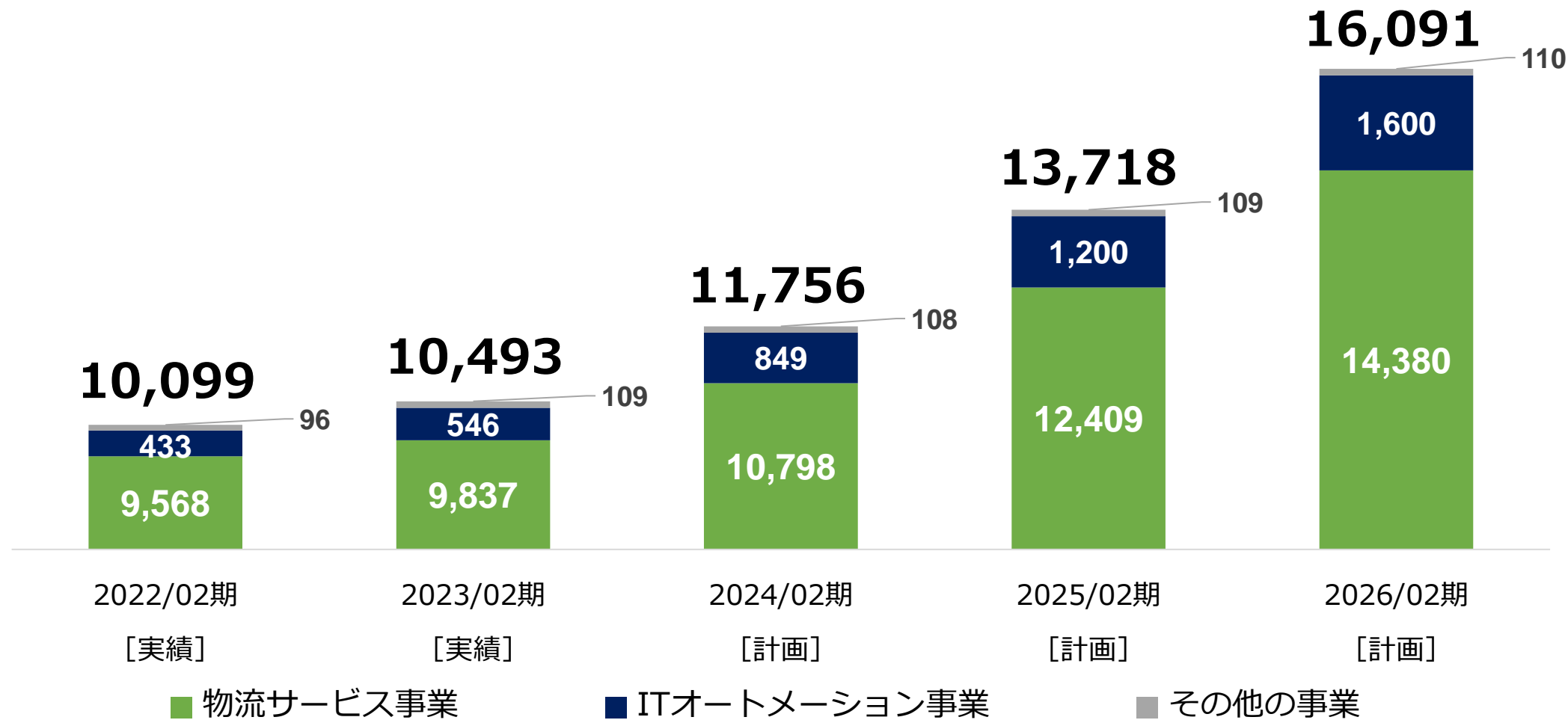
(単位：百万円, %)

	2024/2期 [連結]		2025/2期 [連結]		2026/2期 [連結]	
	計画	前期比 増減率	計画	前期比 増減率	計画	前期比 増減率
物流サービス事業	10,798	9.8	12,409	14.9	14,380	15.9
ITオートメーション事業	849	55.4	1,200	41.3	1,600	33.3
その他の事業	108	△1.1	109	1.0	110	1.0
売上高合計	11,756	12.0	13,718	16.7	16,091	17.3

中期連結経営計画

- ・ ITオートメーション事業の事業占有率を上げ、存在感を増していきます。

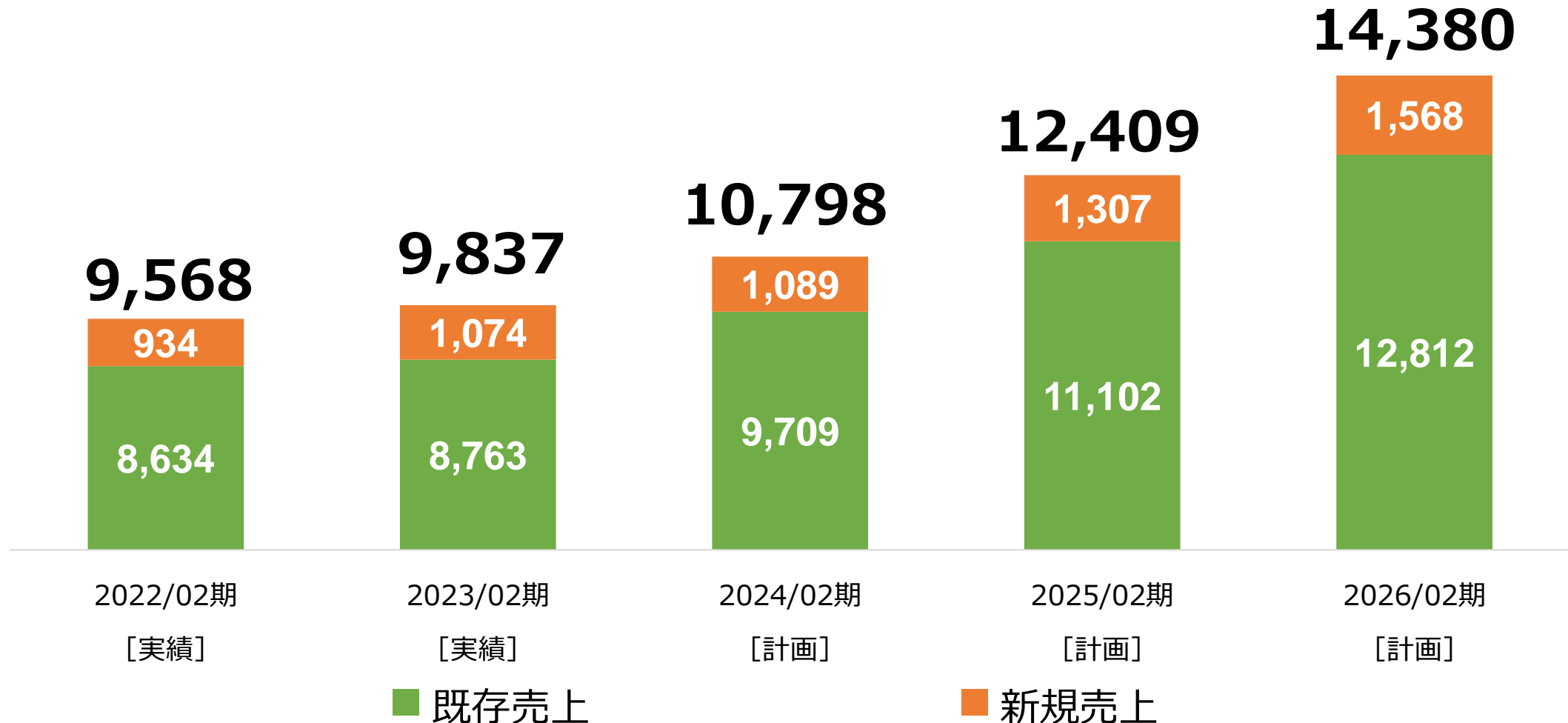
(単位：百万円)



物流サービス事業売上計画

- ・ 売上計画はすでに開示済みのセンター開設の計画で充足できる見込みです。
- ・ 既存を守り新規を獲得することを継続します。

(単位：百万円)





V. ご参考資料

会社概要

会社名	株式会社関通
事業所	関西本社 兵庫県尼崎市西向島町111-4 長田オフィス 大阪府東大阪市長田東3丁目3番32号 東洋交易ビル 東京システム開発部 東京都千代田区神田佐久間町3-37-1 文唱堂ビル 5F 物流拠点 関西14拠点、関東4拠点 [総面積 67,200坪 (2023年2月28日現在)]
設立	1986年4月
代表者	代表取締役社長 達城久裕
資本金	788百万円 (2023年2月28日現在)
上場証券取引所	東京証券取引所グロース (証券コード: 9326)
従業員数	882名 (2023年2月28日現在・従業員数)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 物流サービス事業<ul style="list-style-type: none">EC・通販物流支援サービス楽天スーパーロジスティクスサービス受注管理業務代行サービス物流コンサルティングサービス■ ITオートメーション事業<ul style="list-style-type: none">倉庫管理システム「クラウドトーマス」チェックリストシステム「アニー」■ その他の事業



関西主管センター



東京主管センター

当社の規模・拠点について

関西関東合わせて、19拠点（総面積約80,900坪）で物流サービスをご提供。

※掲載している拠点は一部となります。
※2024年7月開設予定までの拠点も含まれております。

関東エリア



東京主管センター | 延床面積8,300坪
〒352-0005 埼玉県新座市中野1丁目13-7



東京第一物流センター | 延床面積4,700坪
〒351-0101 埼玉県和光市白子1-12-1



関東新物流センター | 延床面積7,900坪
〒359-0011 埼玉県所沢市大字南永井 513



東京第四物流センター | 延床面積3,400坪
〒351-0115 埼玉県和光市新倉 5-1-63



東京第三物流センター | 延床面積2,800坪
〒352-0004 埼玉県新座市大和田3丁目3番21号

尼崎エリア



関西主管センター | 延床面積14,700坪
〒660-0096 兵庫県尼崎市扇町20番地 4階



関西新物流センターII | 延床面積8,700坪
〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町6丁目36-1



EC通販物流センター | 延床面積5,600坪
〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町111-4



アグリベース | 延床面積4,300坪
〒660-0857 尼崎市西向島町 145 番1



D2C物流センター | 延床面積5,200坪
〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町6丁目79



D2CII物流センター | 延床面積4,000坪
〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町231-2

SDGs への取り組み

区分	取り組み内容	具体的活動
デジタルトランスフォーメーション	物流に関連したICTスキルを伸ばす意欲のある国内外の若者をソフトウェア開発者または物流現場のICT技術導入技術者として雇用し、物流現場のICT技術を活用した管理手法、ソフトウェア開発及びこれに付随する業務に取り組むことで、新しい物流現場の管理手法及びICTスキルの習得を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流ロボット・RPA導入 ● 社内キャリアアップ制度
環境保護	物流で使用する資材のリサイクルに努め、倉庫管理システム「クラウドトーマス」を利用したペーパーレス化のほか、請求書及び契約書のペーパーレス化等も推進しています。また、物流センターへのLED照明導入等による省エネを推進する等、環境問題をはじめとする持続可能性（サステナビリティ）をめぐる課題に対する対応が、当社グループの持続的な成長を支える基礎となるよう、その体制構築に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 梱包資材のリサイクル ● LED照明設置 ● 請求書ペーパーレス化 ● 契約書のペーパーレス化
福祉と教育	障がいをお持ちのお子様向け教育事業として、放課後等デイサービスの教室を運営し、発達障害を抱える児童の学童保育と呼ばれる放課後デイサービスを通じて発達に課題を抱えるお子さまの成長と自立をサポートしております。また、障がいをお持ちの方向けの就労移行支援事業所を運営し、一般企業への就職を目指す発達障がいをお持ちの方に、就職に必要な知識やスキル向上のサポートをしています。そのほか、企業主導型保育事業として保育園を運営しており、地域と積極的に関わりながら教育に取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後等デイサービスの運営 ● 就労移行支援事業所の運営 ● 企業主導型保育園運営
ダイバーシティ	ソフトウェア開発者としての外国人雇用、物流現場での外国人技能実習生の継続的な受け入れております。また当社では、女性幹部を積極的に登用するほか、障がい者雇用についても積極的に推進しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人雇用の推進 ● 女性管理職比率 2022年2月末:38.2% 2023年2月末:33.3% ● 障がい者雇用率 2021年度:6.29% 2022年度:5.00% ● 女性育児休業取得率 2022年2月期 取得率:100% 2023年2月期 取得率:100%

関連するSDGs



免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】

株式会社関通 IR担当

お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。

URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

